

緑をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ。

つなぐ

TSUNAGU
NUMBER
23

都内の体験農園利用者を対象とした 秦野里山体験日帰り モニターツアーの実施

「JA農産物直売所」は、だのじばさんず」でのお買い物、「緑茶工房」わさびや茶園」での茶摘み・ほうじ茶づくり、「そば処東雲」でのそば打ち体験、「ホテル観賞」等の都心では経験できない



上: ツアーに参加された皆様
中: 家族でそば打ち体験
下: わさびや茶園での茶摘みの様子



で、JAや農家さんの取り組みについて知ることができた」等の感想もあり、秦野地域だけでなくJAに対する理解にも効果があったと感じております。

とした事業や活動を行っています。本会の調査研究事業に関してご質問・ご相談等がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。お待ちしております。

本会では「都市農村交流」に関する調査研究事業の一環として神奈川県協会の『JAはだの』様のご協力の下、「秦野里山体験日帰りモニターツアー」を実施しました。

ような体験を行いました。ツアー実施後、参加者からは「普段体験できないことを家族全員で楽しめて本当に良かった。秦野は都内からアクセスしやすいので、家族でまた訪問したい」と秦野地域への定期訪問に関して前向きなご意見をいただきました他、「直売所でのお買い物や農家の方のお話

用者と秦野地域との関係をさらに強固なものとする他、各モニターツアーにおけるアンケート結果を分析して調査報告書として、発行する予定です。本会では今後も「都市と農村の交流促進」を目的

全国農協観光協会機関紙

つなぐ

TSUNAGU 2019年10月発行 [VOL.023]

発行 一般社団法人全国農協観光協会 発行人 清水清男 編集人 本本和男
〒101-0001 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアビル4F TEL 03-5297-0321 FAX 03-5297-0660

TSUNAGU TOPICS

第7回 日本農業検定 申込受付開始!

第7回 日本農業検定の申込受付を開始しました。この検定は、食や農業の理解者・応援団を増やすことが目的です。3級から1級まで、農業の基礎的な知識から農業の現場とつながる総合的な知識まで段階的に習得できる内容となっています。ふだんの業務のなかで農業や食の知識が求められるJAの職員の皆さまにとっては、またとない機会です。ぜひとも日本農業検定の申込受付を、検討ください。

試験日

団体受検(5名以上)

2020年
1月10日(金)～
1月18日(土)

公開会場(東京・大阪)

2020年
1月11日(土)

申込期間

団体受検・公開会場

2019年
10月1日(火)～
11月29日(金)

※CBT会場の申込み受付は
2019年12月2日(月)～12月26日(木)です。

試験日	試験会場	試験科目	試験時間	試験料
2020年1月10日(金)～1月18日(土)	公開会場(東京・大阪)	1級・2級・3級	120分	1級: 4,500円 2級: 3,500円 3級: 2,500円
2020年1月11日(土)	公開会場(東京・大阪)	1級・2級・3級	120分	1級: 4,500円 2級: 3,500円 3級: 2,500円
2020年1月10日(金)～1月18日(土)	公開会場(東京・大阪)	1級・2級・3級	120分	1級: 4,500円 2級: 3,500円 3級: 2,500円
2020年1月11日(土)	公開会場(東京・大阪)	1級・2級・3級	120分	1級: 4,500円 2級: 3,500円 3級: 2,500円

テキストのご案内

日本農業検定対応テキスト(1級～3級)は
下記の方法でご購入いただけます。

- 1 日本農業検定ホームページ (1級～3級)
- 2 全国の書店 (2級・3級)
- 3 東京神保町 農文協・農業書センター (1級～3級)



※詳細につきましては、HPにてご確認ください。

<https://nou-ken.jp/>

[本件に関するお問い合わせ先]

一般社団法人全国農協観光協会
総務部 調査研究課(担当:市場)
TEL 03-5297-0321
FAX 03-5297-0260

2018年度援農隊 実施地域一覧

実施年	実施月	企画名	実施場所
2018	4月	チューリップ花摘み隊	富山県高岡市
	5月	柿摘蓄隊	和歌山県紀の川市
	6月	りんご摘果隊	長野県中野市
		さくらんぼ援農隊	山梨県南アルプス市
		カーネーション片付け隊	神奈川県秦野市
		ぶどうカサかけ隊	山梨県甲府市
		さくらんぼ援農隊	山形県東根市
		にんにく収穫隊	新潟県長岡市
		東紀州梅収穫隊	三重県御浜町
	7月	ときわにんにく収穫隊	青森県藤崎町
		にんにく出荷調整隊	新潟県長岡市
	8月	ささげ豆収穫選別隊	新潟県小千谷市
	9月	山ぶどう収穫選別隊	山梨県早川町
		さるなし収穫隊	長野県小谷村
	10月	りんご葉摘み隊	長野県中野市
		にんにく植付け隊	新潟県長岡市

実施年	実施月	企画名	実施場所	
	10月	小糸在来®援農隊	千葉県君津市	
		市田柿援農隊	長野県高森町	
		くり収穫隊	京都府京丹波町	
		京丹波黒大豆(枝豆) 収穫・仕分け隊	京都府京丹波町	
	11月	伝統野菜 保平かぶ援農隊	長野県松本市	
		種ショウガ援農隊	静岡県三島市	
		りんご総採り収穫隊	長野県中野市	
		三ヶ日みかん収穫隊	静岡県三ヶ日町	
		西宇和みかん収穫隊	愛媛県伊方町	
	12月	温州みかん総採り収穫隊	神奈川県大井町	
		温州みかん総採り収穫隊	千葉県鴨川市	
		牡蠣の殻洗い隊	長崎県吉岐市	
		紀の川八朔収穫隊	和歌山県紀の川市	
	2019	2月	邑美人援農隊	群馬県邑楽町・千代田町
			サトウキビ援農隊	鹿児島県与論町



「快汗！猫の手援農隊」を通じた地域活性化の取り組み



「快汗！猫の手援農隊」の紹介

高齢化・人手不足に悩む農家の方々のお手伝いをさせていただき、都市住民を募り、農家との交流を通して農と食への理解を深めていただき、農家・地域の応援をする企画です。農家の方からは、「作業のお手伝

いをしてもらえるだけでなく、生產品のPRができた」、都市住民の方からは、「普通の観光旅行や体験ツアーでは得がたい達成感や生きがいにつながる価値が得られる」との声をいただいています。今回、「日帰り・軽作業」で実施した2つの新企画をご紹介します。

新たな援農隊の事例紹介

JA紀の里の協力による“柿摘蓄(てきらい)隊”

2019.5.7～9 / 和歌山県紀の川市

取組概要

桃、キウイや柿といった果物類が特産のJA紀の里は、農繁期となる5月に管内で柿と桃・梅・キウイなどの農作業が集中します。そこで軽作業ながら人手を要する柿の摘蓄を援農隊として企画しました。

結果

農繁期の人手不足の解消に貢献するとともに、軽作業であることから都市部の中学生・高校生にも参加いただき、若年層が農業を知る機会にもつながりました。今後は袋掛け作業にも援農隊を広げる予定です。

生産者の声

軽作業ながら、細やかで根気が必要な仕事でしたが、丁寧に作業していただけたので大変助かりました。来年もお願いしたいと思います。

参加者の声

参加して実際に作業することで、初めて農業について深く知る機会を得ました。また参加して、違う農作業もしてみたいです。

JA邑楽館林の協力による“邑美人(むらびじん)”援農隊

2019.2.3 / 群馬県邑楽郡邑楽町・千代田町

取組概要

JA邑楽館林では「都市農村交流」をキーワードに特産野菜の収穫体験を行っています。今回はブランド白菜「邑美人」の収穫作業のお手伝いを実施し、農家支援ならびに参加者への「邑美人」のPRを行いました。

結果

農作業を通じて生産者と都市住民(消費者)との距離を近づける機会になり、産地の認知度向上にもつながりました。

生産者の声

都市住民(消費者)に直接、邑美人のよさをPRでき、また「生の声」も聞けました。天候だけは心配でした。

参加者の声

いろんな野菜の話を聞けて大変参考になりました。地元で邑美人を見かけたら買おうと思います。規格外の野菜を捨てるのはもったいないと思いました。



時代とともに新しい形の「猫の手援農隊」をめざして

本会は平成11年に援農隊をスタートし、これまで延べ6500名の都市住民の方々に参加いただき、46地域で援農隊が活躍してまいりました。この間、時代の流れと共に、地域の農業の姿も変化する、農業の関心の高まりから、全国各地で農業ボランティアや農業支援が盛んに行われる時代となりました。一方、援農隊員自身は高齢化しており、援農隊のあり方も次の世代に沿った変化が必要とされています。本会は、「農と食」の

理解促進及び農業・農村のファン作りを目的として、農家・地域と都市住民の「交流」を軸に、地域の課題解決に取り組んでまいります。

実施体制

